

アナタは知っていますか？

魅力いっぱいの車いすハンドボール

東京パラリンピックでは車いすバスケットや車いすラグビーが多くの人の注目を集めた。じつはハンドボールにも車いす競技は存在する。今、その車いすハンドボールが日本でにわかには活気づいてきているのを、アナタは知っていますか？

2021年10月30日

車いすハンドボール体験会
@新宿スポーツセンター（東京）

2021年11月14日

車いすハンドボール体験会
@江戸川区総合体育館（東京）



今、ビーチハンドボールに続いて、にわかには普及への動きが活気づきつつあるのが車いすハンドボール（以下、車いすハンド）だ。

関西など一部の地域ではある程度の知名度があったものの、まだまだなじみのない人が多いことだろう。

しかし、世界的には、コロナ禍で中止になったが、2021年には世界大会も予定されていたほどで、東京オリンピック・パラリンピックで障がい者スポーツへの関心が高まっていることなども追い風となり、これまであまり活発な活動がなかった東京で21年10、11月と2つの体験会が開かれた。

10月のイベントでは、自身もハンドボールラーで、現在早大大学院生の岡田美優さんが代表を務める「パラスポーツを通じて共生社会の実現をめざす」団体Knockü（のつきゅー）が主催。

日本車椅子ハンドボール連盟会長の豊田昌夫さんや、車いすハンドのみならず、車いすバスケットでも活躍中の諸岡晋之助さんらが、参加者に車いすハンドのおもしろさを伝えていた。

また、11月には元力士でハンドボールの小島聖さんが体験会を開催。こちらは子どもから年配の方まで多彩な人々が集まり、年齢の別なくプレー！

車いすを操りながらとあって、健常者と障がい者がともに楽しめる可能性を秘めているこの競技。これからの展開がおいに期待されるところだ。